

実践記録

学校/学年	小学校／5年	
教科等：単元名	学級活動：「インターネットで気をつけること」	
キーワード	危険なサイト	
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	☐ 情報社会の倫理 ☐ 法の理解と遵守 ☒ 安全への知恵 ☐ 情報セキュリティ ☐ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	d3：情報社会の危険から身を守るとともに、不適切な情報に対応できる
	中目標項目番号 中目標項目内容	d3-1：予測される危険の内容が分かり避ける d3-2：不適切な情報であるものを認識し対応できる
授業会場	☒ パソコン教室 ☐ 普通教室 ☐ 特別教室〔 〕 ☐ その他〔 〕	
学習の目標	インターネット上の様々な情報に含まれる内容について検討し、それらの に含まれる危険性を判断し対処することができる	
使用教材	教材名	事例で学ぶN e tモラル（導入で） 情報モラル講座
	製作者	Benesse
	入手先(URL 等)	http://benesse.jp/education/students/onlineroom/homepage/

○展開案

	学習活動	指導 評価◎
導 入	1 偶然危険なサイトにたどりついてしまった場面の映像クリップを見る。 2 自分ならどうするかとその理由を発表する。	・自分ならどうするかを考えながら見させる ・「見ない」と判断した児童の理由から、インターネットに潜む危険性に目を向けさせる。
展 開	3 情報モラル講座の全8つのサイトの内容のうち最初のサイトについて全体で考える。 4 各自で残りのサイトについて、安全かどうかを判断し、理由をワークシートに書く。	・ワークシートに見るか見ないかとその理由を書かせ発表させる。 ・全体で確認した危険性を判断材料にして、残りのサイトについて各自に判断させる。
お わ り	5 各自の判断が正しかったのかを、実際にサイトを開いて映像で確認する。 6 感想を記入する。	◎様々な危険性を考えた上で、サイトの活用について正しく判断できたか。 ・互いの感想を共有させ実際の場面で活かそうとする気持ちを持たせる

○授業の成果

- ・実際にインターネットを家庭で活用している子が多く、導入場面で似た経験を持つ児童からその時の様子を話してもらったため、必要感を持って取り組むことができた。
- ・サイトを開くかどうかの判断とその理由を考えさせたことで、インターネット上の様々な危険性を一人ひとりが考え判断できた。間違った判断も多く、その結果どうなるかが映像で明確に示されたため、危険性を強く実感した児童が多かった。

○指導のポイント・留意点

- ・サイトの内容はどれも危険性考えさせる為に大切な内容なので、時間内に全てを扱えるようワークシートへの書き込みはできるだけ簡単にさせるとよい。